

東京片貝会報

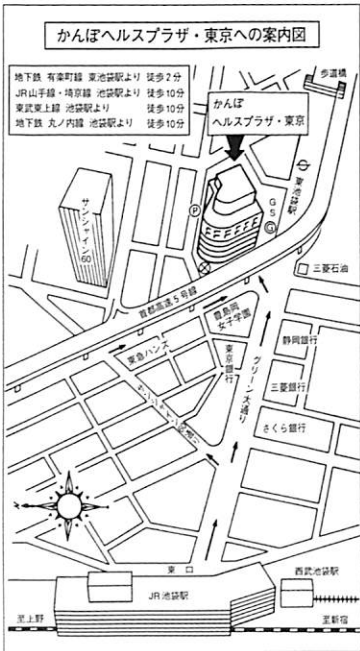
発行 東京片貝会
責任者 佐藤祐・事務局 黒崎勝
〒252-1132 綾瀬市寺尾中3-9-24
電話 0467-76-3154

東京片貝会 第48回総会御案内

青葉若葉の季節となりました。第48回総会を左記の通り開催致します。片貝町の今冬は稀にみる暖冬・少雪で、いつもより早い春の訪れでした。中越地震からの復旧は概ね完了と伝えられる故郷から、お客様をお招きします。永年お世話になった、会場の「かんぽヘルスプラザ東京」は、本年七月一日を以て営業終了となり、本会場での最後の総会となります。お友達を誘い合つて多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時 平成19年6月24日(日)午後一時(正午より受付)
会場 かんぽヘルスプラザ東京
東京都豊島区東池袋4-7-7
会費 七、〇〇〇円
お願い 返信は6月15日(金)までをお願いします。

東京片貝会 会費
会費は、年二〇〇〇円とさせて頂いております。会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願い致します。母校を励ます会の支援は、三面をご参照下さい。



会の動き

- 理事会 12/17
於：かんぽヘルスプラザ 佐藤会長以下16名
会報発送 約八百部
・新年会打ち合わせ
- 新年祝賀会 1/28
於：かんぽヘルスプラザ 出席者75名
会員74名、片貝来賓1名
(二面参照下さい)
- 理事会 4/8
於：かんぽヘルスプラザ 佐藤会長以下13名
・総会 打ち合わせ
・今期会計決算について
・次期会場の件

片貝町の伝統行事 寒の神 『炎と花火』 願いを込めて

片貝町の小正月の伝統行事・寒の神は、一月十四日積雪が殆どない浅原神社の境内で、片貝町民合同行事(実行委員会主催)として、盛大に行われた。



片貝の寒の神は、スケールの大きい寒の神と花火で知られている。昼の部は、小若連が町内を歩きながら懐かしい「モックラモチ」おんまいどと浅原神社に木遣りを奉納した。恒例の「福もちまき」は、煙火協会・商工振興会により行われ、大勢の人達で賑わった。夜の部は、六時から花火を合同に始まり、成人「輝翔会」によって、参道に並べられた百八燈のロソクが点火され、多くの町民が境内に集まった。七時から特設ステージで、来賓各位の挨拶の後、四十二才の「実生会」の盛大な「福もちまき」が行われた。新成人お祝いのスターメイン打ち揚げとともに寒の神が点火された。メインの大寒の神は、高さ八メートルで、子供達の書き初めや折り紙で飾られており、無病息災、家内安全、五穀豊穡、商売繁盛などの町民の願いが込められ、点火されると十数メートルの火柱が燃え上がり、冬の夜空に幻想的な炎が舞った。炎の勢いのおさまりを待ち、昔ながらのスルメや餅を焼き、一年のそれぞれの願いを祈った。

片貝町 新年度人の動き

片貝町は新年度を迎え、協議会、学校そして市会議員と新たな体制がスタートしている。

市会議員

小千谷市議会議員選挙は、4/22に投票が行われ、片貝出身の吉原正幸さん(高見)が、二番目、安藤裕さん(八島)が五番目と高得票で上位当選となった。なお、投票率は七六・九％で市議選としては過去最低であった。

片貝町協議会

協議会は、4/12総会を開催し、決算承認、予算決定を行い、新役員が選任された。会長は川上東陽氏の続投で、副会長は木曾勘次氏である。川上氏は、「此からは地方の時代」「地域福祉の拡充に更なる努力を」を柱に進めると挨拶されている。

小・中学校校長異動

- 片貝小学校
転任 杉山淳一 校長
異動先 長岡市立上川西小
着任 仲 邦男 校長
- 片貝中学校
転任 渡辺清滋 校長
異動先 五泉市立愛宕中
着任 佐藤 信校長
前任校 加茂市立須田中

平成19年厄年・記念同級会

- 成人 輝翔会 H14卒 68名
- 33才 飛翔会 H3卒 75名
- 42才 実生会 S56卒 84名
- 50才 西成会 S48卒 100名
- 60才 慰十六会 S38卒 185名
(中学校卒業生)

新年会 開催

平成19年1月28日
かんぽヘルスプラザ東京

楽しく故郷を想いながら

平成十九年度の新年会は、一月二十八日会員74名、片貝来賓1名の合計75名の参加を頂き開催された。

司会はお馴染みの芝強さん(38卒)と内藤富美子さん(43卒)のお二人で、開会の辞を黒崎勝(28卒)副会長が、多数参加の御礼と事務局を担当することになった挨拶をされ、会は始まった。

佐藤祐一(27卒)会長の挨拶では、「会の状況として、現在案内状は約800名に送付し



ているが、返事は三割り程度である。送付者について検討を行っている。会計は現在の所、特に心配はない。

最近、教育の話題が多いが故郷の地域教育の一環として、本会の母校を励ます会、会報の発行またインターネットのH・Pなどで貢献しているのではないかと、幹事会も常に十数名の出席があり、片貝の教育効果ではないかと感謝している。」と述べられ、前事務局長の吉原さんの奥様から清酒を、おちや農協からお米と清酒を頂いたとの報告があった。

母校を励ます会の本田秀幸(37卒)会長から、昨年十月の講演会の報告と、本会への協力への感謝の言葉があった。また、会報上のお名前前の掲示について、期間を明示することの報告があった。続いて、小宮善興(31卒)広報担当から、片貝の郷土史研究会の活動状況と、小千谷新聞に「片貝小学校児童のしつかりした登校」と賞賛された投稿の紹介があった。

懇親会は、大正生まれの大先輩の浅田鐵三さんのお元氣なご発声で、高らかに乾杯がなされ開会された。その後、片貝からの来賓の本田正憲氏(片貝商工振興会会長)から

片貝の最近の情報などのご挨拶を頂いた。「昨年の祭りは大盛況で九日は車の警備指導が出来ない状況となり、ご迷惑をお掛けした。祭りは十日から遠のくので変わらず宜しく。今冬は気持ちの悪いほど暖冬で、雪は10cm位で、雪祭りができない地区もあり、神主が「雪乞い」をやっているとも聞く。地震の際のご協力に感謝。復旧はほぼ終了し、復興に入るが、10年位かかりそう、更なるご協力をお願いする。」と話された。

片貝の最近の情報などのご挨拶を頂いた。「昨年の祭りは大盛況で九日は車の警備指導が出来ない状況となり、ご迷惑をお掛けした。祭りは十日から遠のくので変わらず宜しく。今冬は気持ちの悪いほど暖冬で、雪は10cm位で、雪祭りができない地区もあり、神主が「雪乞い」をやっているとも聞く。地震の際のご協力に感謝。復旧はほぼ終了し、復興に入るが、10年位かかりそう、更なるご協力をお願いする。」と話された。

宴は、花火や友達のこと最近のできごとなどの話で片貝弁が飛びかう中で、昨年に続き「うおぬまコシヒカリ」が景品の抽選会がおこなわれ、大変な盛り上がりとなった。本田さんからは、「片貝花火カレンダー」のプレゼントがあり、当選者には後日郵送されることとなった。更に宴を盛り上げる日舞(足尾良子さん)や得意のカラオケの後、恒例となった「ああ上野駅」、そして、故郷へ帰った気持ちで肩を組み合い、「木造り」を大合唱し、宴は大盛況となった。万歳三唱を阿部前会長のご発声で行われた。閉会の辞は、吉井均(29卒)副会長で

ご協力への感謝と次回再会を願ってお開きとなった。

「二来賓出席者名」(敬称略) 本田正憲

「新年会出席者氏名」(敬称略) 昭和5・20 浅田鐵三、黒崎善興、佐藤ヨシ、阿部源、山岸慶昭、中川克子、松下利夫、浅田栄三、石井ユリ、上田益美、江澤キヨ、氣田登美、小林重男、小宮善興、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、山口光雄、吉原俊六、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、清水好男、高野 賢、山口明男、吉原三代治、大塚順一、忍足良子、神林佳子、豊島文枝、木村ナ方、安藤眞里子、石川春子、小宮秀雄、溝手俊二、佐藤祐一、松岡規子、藤塚浩治、相内テル、黒崎 勝、吉原 宏、木下 伸、杉原美和子、吉井 均、安達弘之

東京片貝会への「寄付」

東京片貝会へ、大勢の方々から、ご寄付をいただきました。記して厚く謝意を表します。(敬称略)

平成18年9月15日

平成19年4月15日

「祝儀・寄付金者名・御礼」(敬称略)

日下部政子、芋田トシ、丸山春、小宮繁雄、川村朝子、太刀川三郎、内山キミ、山岸慶昭、岡野ミヨ、中野みちよ、小野塚五郎、桜井照子、丸山礼子、庄司とう、上田益美、高野賢、阿部修次、黒崎正、山岸雪子、橋本、山本文子、五十嵐登美子、大塚順一、長岡利夫、大坂照子、安達実、小高君、藤塚文頭、吉原靖子、久賀友作、守屋ヤウ、太刀川龍介、黒崎勝、浅田京子、小松原美枝、佐藤トモ子、小野塚清、重原文明、大塚功純、稲川恵子、安達芳治、太刀川三雄、寺町明美、高野鈴子、本田利美、阿部武、松井正之、安達智子

会員短信

石黒 スミ (大15卒)

佐藤益美先生。〇五才、小栗田の老人ホームにいらつしやいます。私は小学五、六年に教わりました。片貝には教わった人が多いです。

三重堀 清 (昭20卒)

毎回会報載き会の動き又片貝のニュース思い出の場所などに浮かびます。役員の方々、会の為に頑張ってください。

新澤 須美 (昭24卒)

九月の片貝祭りにゆき同級生の皆さんと古稀の行事に参加して感動を受けてきました。東京片貝会の発展をお祈りします。

吉原 武夫 (昭28卒)

吉原勉さんが亡くなられたとのこと驚きました。まだお若いのに残念です。皆様へ宜しくお伝え下さい。

平成18年度東京片貝会母校を励ます会・会計報告

収支計算書

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	957,103	図書寄付金	200,000
基金協力金(187名)	323,000	講演会費	20,000
受取利息	58,979	交通費	40,000
		事務費	1,323
		次年度繰越金	1,077,759
合計	1,339,082	合計	1,339,082

通算収支計算書

(自昭和58年5月 至平成19年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
基金協力金	7,159,700	図書寄付(24回)	5,200,000
(延 2,701名)		小学校130周年寄付金	200,000
受取利息	336,447	中越地震小・中見舞金	200,000
		講演会(23回)	340,000
		会費補助	35,000
		印刷・通信費	84,724
		交通費	280,000
		事務費	8,041
		懇親会費	70,000
		雑費	623
		次年度繰越金	1,077,759
合計	7,496,147	合計	7,496,147

貸借対照表

平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	497,759	次年度繰越金	1,077,759
定期貯金	580,000		
合計	1,077,759	合計	1,077,759

上記のとおりご報告いたします

平成19年3月31日

会計 諸 武 時 夫

上記は適正であることを認めます。

会計監査 木下 伸 龍

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございました

皆様の心暖まるご寄付を頂き誠に有難う御座います。片貝小学校の図書館教育主任後藤直先生から、また子供達から東京片貝会への御礼の便りを沢山頂いています。

小学校では、図書館部とPTAもみの木の会で協力し合い「片貝小読ませたい本百選」を選び「もみの木キッズ本百選」として、皆さんからのご寄付で購入された洋々文庫に設置されています。

母校を励ます会が「教育講演会」と共に、永く続けられますよう、ご協力を宜しくお願い致します。

母校を励ます会

平成18年度東京片貝会・会計報告

収支計算書

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	662,021	総会費	668,907
年会費(295名)	590,000	新年会費	472,655
総会費(76名)	532,000	役員会費	8,825
新年会費(75名)	525,000	片貝祭奉納祝酒費等	63,000
ご祝儀(16名)	180,000	新潟県人会関係費	15,000
寄付金(52名)	115,000	慶弔金・見舞金	25,750
郵便貯金受取利息	20	通信費	132,930
		会報印刷費	368,004
		事務費	11,000
		小千谷新聞購読料	11,616
		郵便振替等手数料	28,160
		次年度繰越金	778,194
合計	2,604,041	合計	2,604,041

貸借対照表

平成19年3月31日		平成19年3月31日	
科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	986,974	平成19年度会費	510,000
郵便振替	11,220	次年度繰越金	778,194
定額貯金	290,000		
合計	1,288,194	合計	1,288,194

上記のとおりご報告いたします。平成19年3月31日

会計 天野 浩

上記は適正であることを認めます。

会計監査 下 伸

第25回 教育講演会
講師(内定) お知らせ

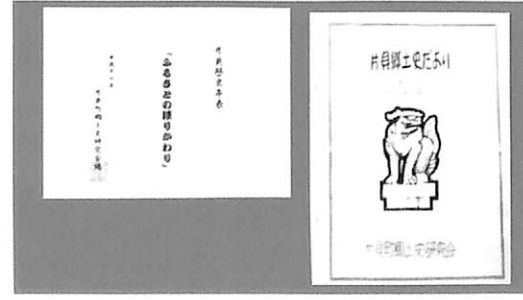
講師 安達 靖
演題 「瞬の美しさに魅せられて」

略歴 西成会(五の町出身) 略歴 西成会(五の町出身) 略歴 西成会(五の町出身)
昭和48年 片貝中学校卒業
昭和51年 小千谷高校卒業
現職 東芝エリイマーケティ
ング(株) 新潟支店店長

「母校を励ます会基金協力者氏名」
(敬称略・順不同)
H18・9・15 H19・4・15
日下部政子、芋川トシ、丸山春、
小宮繁雄、黒崎音吉、川村朝子、
太刀川三郎、山岸慶昭、中野みち
よ、小野塚礼次、桜井照子、中川
克子、丸山礼子、松下利夫、浅田

栄三、江澤キヨ、氣田登美、小林重男、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、山口光雄、高野賢、安達和、安達弘男、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、山口明男、黒崎正、山岸音子、橋 尚、友田善智、吉原栄一、五十嵐登美子、忍足良子、豊島文枝、新澤須美、山口弘、青木マツエ、石上俊夫、木村ナガ、小高君、安藤眞理子、小宮秀雄、溝手俊、藤塚文顯、吉原靖子、佐藤祐、松岡規子、藤塚浩治、久賀友作、守屋ヤウ、太刀川龍介、吉原武夫、安達隆、小松原美枝、相内テル、黒崎勝、吉原宏、野崎真知子、吉井均、松本キイ、木下伸、佐藤トモ子、安達弘之、小野塚清、大塚國夫、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚悟、重原文明、諸我時夫、藤塚勝明、藤塚昭子、浅田達夫、渡辺千香子、高山章子、大塚功統、安達達弘、井上知子、神林省三、本田芳治、上藤イフ、太刀川三雄、本田正憲、寺町明美、高野鈴子、本田秀幸、松井京子、芝 強、本田利美、阿部武、小野塚和夫、藤塚栄三、三重堀国治、佐藤正志、相崎俊夫、安達徹、小林和弘、西沢薫、内藤富美子、松井正之、藤塚哲也、相川容子、安達智子、徳永隆浩

小千谷新聞投書
「小学生たちの登校態度に接し」から
新年会の席上で、小千谷新聞の投書を紹介したが、片貝では「会報きょうぎかい」[学校だより]もみの木」で取り上げられ明るいニュースとして話題を集めた。
この記事は、小千谷市内から長岡へ通勤の方の投稿で「……片貝の町内に入ると片貝小の子供たちほままとまりがよく、列も班長がきちつとまとめていて、車を止めて通してやっても、きちつと頭を下げて礼をして行ってくれる。思わず手を振って「いってらっしゃい」と言ってしまう。こんな気持ちいい子供たちが学校の指導力のあらわれではないでしょうか。」
片貝小では、これまで児童会のスマイルハロー委員会を中心にあいさつ運動を続け、PTAでも「あいさつし隊」を結成するなどして、学校、家庭、地域が一体となった「あいさつキャンペーン」の運動が継続されてきた。これらの取り組みの成果の一つとして受け取られ、大きな励みとなり、さらに挨拶の輪が広がることでしよう。町の皆さんに敬意を表します。東京片貝会での紹介では大きな感動を頂きました。



片貝郷土史の紹介
会への入会・行事参加できます
本会の新年会で紹介しました「片貝郷土史研究会」最近の活動状況につき、研究会の事務局からの情報を含め紹介します。入会・行事参加は歓迎とお話を頂いています。
*組織と会員数
・吉原芳郎会長、吉原幸至 副会長以下九名の幹事
・事務局 大矢三重幹事
・会員数51名
女性2名、男性49名
50才〜80才代
*最近の活動
・「片貝郷土史だより」発行
・片貝歴史年表改編
「ふるさとの移りかわり」
・「史跡巡り」第一回25名
・本年のテーマ
A:大工、B:鍛冶屋
C:醸造 D:仕事色々
*史跡巡りの参加
町内以外の人の参加歓迎
次回は、5月13日で会報発行時は間に合いませんが、その後につきましては事務局へお尋ね下さい。
故郷片貝町は、縄文遺跡、神社、寺、城址、筆塚、豪農、学問、戊辰役など沢山の史跡がある。また、緑公園水沢、裏無峠ハイキングコースなど美しい自然にも恵まれている。現在も、染物、花火、製菓、桐製品など伝統を守るお店がある。どうぞお出かけ下さい。

東京片貝会員へのご案内
*研究会への入会
町内以外の人も受付
入会金 二千円
振込先
北越銀行片貝支店
四五〇普通口座
七三〇
*片貝歴史年表の購入
価格 二〇〇円(送料別)
申込先 事務局大矢三重
電話・FAX
〇二五八・八四・二一八三
小千谷市片貝町茶畑六三三
*史跡巡りの参加
町内以外の人の参加歓迎
次回は、5月13日で会報発行時は間に合いませんが、その後につきましては事務局へお尋ね下さい。

ふるかき・は・今

H18年12月から
H19年5月まで

母校近況

■小学校

ユニーク2分の1成人式
10年後にタイム花火

十二月二日、四年生45名は、本年度に10才を迎えることから、「2分の1成人式」を行った。10年後の自分へのメッセージ等を花火の玉殻に詰め「タイム花火」として、10年後の片貝まつりに開くこととした。

作品コンクールで大きな成果
数々のコンクールで、日頃の努力の力を発揮し素晴らしい成果をあげた。

※いきいきわくわく科学賞
新潟日報社賞
「ヒコキはなぜ飛ぶか」
四年根本美香さん

※県発明工夫展覧会 金賞
「ベットボトルのスリッパ入れ」三年吉原薫佳さん

※県ジュニア美術展 奨励賞
二年吉原さん、大矢さん
五年市川さん、伊部さん

「愛言葉を大切に」
日めくりカレンダー完成
本年度の重点活動の一つ愛言葉活動。保護者から募集した「愛言葉」「エピソード」をもとに日めくり形式のカレンダーを作成した。愛情のこもった暖かい言葉が載っている。

ピカピカ新一年生 28名

入学式は四月六日行われ、28名(1クラス)が新一年生となった。本年度は、二、三年各1クラス、四、五、六年各2クラスと杉の子学級(特別支援学級)で、全校10学級児童数236名となる。

■中学校

読書に親しもう
十二月八日、「全校一斉読書会」が行われた。子どもの「読書離れ」が指摘されて久しいが、片貝中では毎年この時期に読書会を設定し、読書へのきっかけを図っている。

第60回卒業式

三月六日片貝中第60回卒業式が行われ、たんぼぼ学年55名が卒業した。一人一人に校長先生から卒業証書が授与され全校で祝った。また新入生は41名、全校生徒数119名である。

片貝中同窓会入会式

同窓会の入会式は、三月二日開催され、新会名は咲舞会(しょうぶかい)と名付けられた。安達隆同窓会長の挨拶に続き、山村英人先輩(しろがね会)から「励ましの言葉」を頂き、同窓会入りをした。

その後、伝統芸能保存会から木造りの講習、同級会名プレート収めを行った。

EOPHILIA

大爆笑 同窓祭

第十六回同窓祭が、十一月二十六日片貝総合センターで約百五十名が出席して開催された。メイン行事は新潟落語会会長の水都家艶笑師匠の落語の独演会で、片貝まつりや花火のことを織り交ぜながらの一時間の爆笑の渦。引き続き懇親会に入り、大盛況であった。

浅原神社二年詣り

本年の二年詣りは、天候に恵まれ約三千人で賑わった。浅原神社は「〇八発の花火」が有名となり、若いカップルが車で訪れるケースも多く、ピーク時は参道入口まで行列ができるほどであった。破魔矢と御神酒セットも人気があり完売となった。

空手 光武会寒稽古

空手の光武会(浄照寺小林光紀会長)は、一月七日恒例の寒稽古を、時折アラレと突風の中、五十人が参加し実施した。千本突きでは、泣き出す小学低学年もいたが、荒行に挑戦していた。

絵本コンクールで大賞受賞

一之町の渡辺望さん
「第四回ANA「私の青空」国際環境絵本コンクール」で、片貝町の渡辺望さんが大賞を受賞した。渡辺さんは片貝小、



池田屋のボンボン羊羹
菓子部門大臣賞受賞
池田屋(一之町本田要之輔社長)の「ボンボン羊羹玉花火 本玉皮入」が、第四十七回全国推奨観光土産審査会の菓子部門で最高の厚生労働大臣賞を県内で初めて受賞した。ボンボン羊羹は、五号玉花火の玉殻に、六種類のボンボン羊羹
九個
を花
火の
星に
見立
てて並べており、十年ほど前から売り出している。片貝まつりでは、毎年約千個を完売し売り切れご免の人気商品である。(一、一五〇円)



池田屋のボンボン羊羹
菓子部門大臣賞受賞
池田屋(一之町本田要之輔社長)の「ボンボン羊羹玉花火 本玉皮入」が、第四十七回全国推奨観光土産審査会の菓子部門で最高の厚生労働大臣賞を県内で初めて受賞した。ボンボン羊羹は、五号玉花火の玉殻に、六種類のボンボン羊羹
九個
を花
火の
星に
見立
てて並べており、十年ほど前から売り出している。片貝まつりでは、毎年約千個を完売し売り切れご免の人気商品である。(一、一五〇円)

片貝出身大矢選手

バスケットチーム全国大会へ
片貝町出身の大矢裕貴さんは、バスケのクラブチーム「ヘッジホッグ」に所属しているが、同チームは全日本クラブ選手権信越予選大会で優勝し、全国大会への出場権を獲得した。チームは新潟大学OBが中心であるが、大矢さんは片貝中学、長岡工業高校で活躍し、新潟市の企業に勤務し、クラブに所属している。

老人クラブの片貝地区女性

老人クラブの片貝地区女性部は、二月十日総合センターで交通安全教室を開催、四十人が参加し、交通安全のビデオ上映、ゲームなど、また日常生活上の注意点を楽しく学んだ。

杉並区が友好交流功労者で

関前小千谷市長を表彰

関前・前市長は、杉並区から友好交流功労者表彰を受け四月三日市役所で伝達式が行われた。杉並区とは小千谷学生寮を縁に民間レベルでの交流が始まり、平成十六年災害協定を結んだ。中越地震に際し、高額な義援金を始め物心両面で支援を得たことはご承知の通りである。十七年三月杉並区議会で、関市長が涙ながら謝辞を述べ、出席者の涙を誘ったことは本会員も傍聴している。民間レベル、行政ぐるみの交流に対し、これらの功績が評価されての表彰となった。

小千谷市484人 成人式

成人式は五月三日、市民会館大ホールで開催された。式典の中で、出身中学校ごとのアトラクションがあり、片貝中は全員で木遣りを披露し、大きな拍手が送られた。

あとがき

今号は、内藤幹事が片貝へ伺い、情報を頂きました。皆さんに大変お世話になり感謝しています。

町民・体となったあいつ運動が着実に実りつつあることに感動しています。

(小宮)